

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	40	利用者さんは食べるのが大好きで、食事そのものは楽しみにされている。しかし飲み込みが困難な方多く、食材の形態もミキサー食、刻み食、とろみ食と様々な対応が必要であり、食事を無事に終えることが中心になっている。また利用者同士の関わりの支援も不十分である。(空)	一人一人が居心地の良い時間と空間になり、食事が楽しみになるだけでなく、共に暮らすことの良さを感じることができる。	BGMをかける。時には席替えをし、他利用者同士の交流を図る。食事前に献立の説明を写真等の視覚に訴えるものを利用し、ごちそうのイメージを作る。利用者の嗜好を確認し、献立の工夫をする。その時々が特別と感ぜられるようデザートや甘い物の充実を図る。一人一人に合った食事の提供。食事時間が長くなって飲み込みが困難にならない工夫と栄養の確保のための支援。	6 か月	BGMの工夫をしており、軽音楽やラジオ等がかかっており、柔らかい雰囲気を作るようにし、以前よりは改善されている。献立を視覚で分かるようにしたことも空利用者へは効果的で、楽しみに食事を待たれるようになった。食事形態が多様で一人一人に合わせており栄養面では工夫できており、食べ易い様子である。
2	40	利用者同士の関わりの中で、本人の思い通りの席につけなかったり、リビングの狭さの為心を砕いて話すこともできにくく笑顔もない。また共同生活のためのゆったりとした利用者の思いに沿った支援が十分でなく、楽しい食事時間になっていない。(風)	一人一人が居心地の良い時間と空間になり、食事が楽しみになるだけでなく、共に暮らすことの良さを感じることができる。	話題の提供の工夫と各テーブルの声かけの充実を図る。また一つのテーブルから全員に会話が弾むよう話題作りをする。BGMをかける。盛り付けや容器、入れ物を工夫し、雰囲気を楽しむことができるよう支援する。デザートの充実を図り、ゆったりと食事を終えることができる工夫をする。	6 か月	BGMの工夫や職員同志がテーブルの利用者への会話を他のテーブルの利用者へも話をつないでいくことで、会話のある、ゆったりとした時間が持てるようになってきた。テーブルの席等も常に検討し、嫌な思いをしないで済む工夫をした。
3	6	常時の見守りは困難で、ベッド柵を外すと下肢がおりていたり、ずり落ちがあり、昇降側のベッドに柵を2本取り付けることにより転倒防止を図っている方がいる。	身体拘束をしないケアをめざし、対応策を講じることができる。	毎月のモニタリング時、対応策を検討する。3か月ごとに家族との話し合いを持ち、家族にも身体拘束をしないケアの理解を求める。	12 か月	1名の拘束は中止になったが、現在新たに1名増え、3名のベッド柵による転倒防止策を講じている。現在代替えになる対策を検討している。
4	23	利用者との関係が希薄で、コミュニケーション能力が十分とは言えず、利用者の思いを丁寧に聞くことができていない。	利用者とのコミュニケーションがとれ、一人一人が満足のできる生活になる。	職員全員が日々利用者全員と会話できたかどうかチェックシートで確認する。(月初めの1週間～)職員は昼食時、10時、15時は常に別テーブルに参加し、利用者全員と一緒に過ごすことができるよう時間を作る。	12 か月	以前に比べると会話も増えており、更新時のアセスメントや誕生日の交流等により1対1のコミュニケーションの機会が増えていて、利用者の笑顔が増えている。

注1) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告して下さい。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。